

平成 31 年 3 月 4 日 基地周辺対策特別委員会 議事録
13 時 00 分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 賀屋 幸治

委員 北地 範久、藤井 馨、山崎 年一、寺岡 公章、田中 実穂、
山本 孝三

議長 児玉 朋也

副議長 細川 雅子

○欠席委員 なし

○網谷委員長 定足数に達しておりますので、基地周辺対策特別委員会を開会いたします。

山本委員は、おくれるそうですが、始めさせていただきます。

それでは、市長、御挨拶をお願いします。

市長。

○入山市長 基地周辺対策特別委員会、開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○網谷委員長 ありがとうございます。それでは、日程に従いまして進めさせていただきます。

日程 1、執行部報告事項についてを議題といたします。

執行部からの御報告をよろしくお願いいたします。

危機管理監。

○吉村総務課危機管理監 それでは、御報告させていただきます。

このたびは特に大きな報告事項はございませんでした。ですので、定例ではございますが、市内の騒音測定値のデータをあらわした資料を 4 点おつけさせていただいております。よろしくお願いいたします。

○網谷委員長 説明してくれますか。

危機管理監。

○吉村総務課危機管理監 それでは、資料を御説明させていただきます。

資料 1 になります。これは阿多田地区で毎回阿多田漁港の方をお願いしまして、耳で聞き取った数値をレベル化したものをおつけしております。11 月から 1 月分の 3 カ月分となります。

資料 2 につきましては、阿多田島の漁港の屋上に設置しましたデシベルを計測する測定値になります。これも 11 月から 1 月分となります。

資料 3 につきましては、これは防衛省が、岩国基地周辺に設置しております騒音測定器から集音しました測定値をあらわしたものです。これも 11 月から 1 月分となります。

このたび 1 月につきましては、報道でもありましたように、米軍のほうから正月三が日

飛行しないという通達がありまして、この数値から見ても、1月1、2、3日につきましては、民間航空機以外の飛行はなかったものとうかがい知れます。

資料4につきましては、阿多田島の騒音測定値と岩国基地周辺の三笠町の東中学校の測定値を比較したグラフとなっております。

以上です。

○網谷委員長 今回は特に大きな報告事項等もございませんということですが、委員の皆さん何か聞きたいことがあれば聞いていただければと思いますが、ないようでございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 ないようでございますので、日程1はこれで終わりたいと思います。

続いて、日程2に入りますが、ここからは議会内での話し合いになりますので、執行部の皆さんは御退席されて結構かと思えます。ありがとうございました。

それでは、日程2、その他についてを議題といたします。皆さんサイドブックスのほうに、掲載及び資料が配付されていると思いますが、去る1月19日の阿多田島訪問をした際に、2月24日に阿多田区自治会のほうが総会を開くということで、いろいろな総会の中で要望なりが出るという推測のもと、我々もその結果を待つということでございましたが、その結果といえますか、いろいろな要望の資料を先週いただきまして、そのアンケートと申しますか、それを集計いたしまして、我々のほうから結果をサイドブックスのほうに載せると思いますが、資料がある方は資料を見ていただきたらと思えます。

そのような中で、住民の要望として多かったのが、やっぱり資料にもございますが、フェリーの運賃の助成等、これが大半を占めておるということでございます。運賃の助成等といいますが、いろいろな項目があろうかと思えます。幼児の親子連れが無料とか、島民全員の助成をしてくれとか。その中で、フェリー運賃の助成等に関する要望というふうにとまめています。

それから、あとは騒音被害に対する防音対策、こちらも主には天井のほうの防音がなっていないとか、新築は対象にならんとか、いろいろな意見が示されております。また、施設といいますが、集会所がないとか、公民館がないとか、いろいろな行事を漁業協働組合の3階でやっとするわけでございますが、2階まではスロープがありますが、3階に対しては階段ということで、大変高齢者の方が不便しとるといようなことが書かれております。

そのようなことで、いろんなことがございますが、これは全体の意見を集計したものでございまして、これは今から阿多田区自治会の方が、意見を集約されておられませんので、このような意見が合わせて21名の方から出ると聞いております。その中で自治会としての意見がまだ集約されておられませんので、集約されたものを、我々に知らせていただきまして、それを踏まえて基地周辺対策特別委員会として協議を進めていったらと思えますので、正式といえますか、まとめていただいたものをみて我々も協議したいと思えますので、まとめていただくまで、時間もかかると思えますが、この件については、以上のようなことです。

このことについて、何かございましたら発言していただければと思います。まだ意見が集約されてませんので、大体のことを今、説明しました。

山崎委員。

○山崎委員 まだ集約されてないと言いながら、ここに集計したんですということやったと思うんですけど、これは網谷委員長が集計されたということなんですか。

○網谷委員長 この集計は、副委員長と協議しまして、一応こういう形でアンケート結果ということで、載せさせていただいております。

山崎委員。

○山崎委員 それで、改めて集計したものを出すということのようですが、そのできるだけ詳しい集約の仕方をしてほしいと思うんです。住民の声がどうなのかということですね。

それともう一つ気になるのが、今まで圧倒的に多かったフェリーの建造の問題ね。これが全然このアンケート結果の中に出てきてない。私は、皆さんの今までのあった住民の皆さんの意見から言うたら、異常な感じを受けるんですが、これはもう阿多田島の皆さんは解決したという前提のもとに、このアンケートをされたんでしょうか。

それともその辺のところはわからなくて、たしか私どもが生活環境委員協議会で聞いたのは、つい先日ですよ。だから阿多田島のほうはそういうことが、情報が入ってもうできるという前提の上で、このアンケートをつくられたのか。その辺のところは私、解釈がわからんですが。構想が行政としては、そういう方向で検討するという、三つの項目がありましたよね。だからそのことで検討するという段階で、別に具体的になつとるわけでもないし、もしそういうことが、阿多田地区の方が感じてらっしゃるんだとすれば、情報の提供の仕方が悪いかなと思うんです。その辺のところは、どうでしょうかね。

○網谷委員長 今のフェリーの件でございますが、私自身、先週的生活環境委員協議会の中で、ある程度の結果を聞いたわけございまして、その今、阿多田地区の皆さんがこれに載ってないということなんで、阿多田島の住民の人が、この前の生活環境委員協議会の以前に情報が入つとるかということは、私もわかりません。正直言いまして。そのようなことで、この前の生活環境委員協議会を踏まえますと、一応、阿多田地区の皆さんも納得してるかなという答えになつとりましたかね。

山崎委員。

○山崎委員 もし、阿多田地区の住民の皆さんがそういうふうにもう大丈夫なんだという解釈しとられるんだしたら、これは大きな間違いで、まだこれから詰めていかないけん問題で、行政として三つの案がありますと。これを検討していきますということだったと、私は理解しており、その情報提供というのは、きちっと行政も私どももやっていかないけんような気がします。

そのことでいうと、このアンケート結果の一番上の17件のところには、30件ぐらいがフェリーの建造でなけりゃいけんのやなど。今までの感じだと思っていたもんですから、そのところを一つ疑問がありましたので、今後の対応として提案をしておきますので、よろしく願います。

○網谷委員長 今の申しおくれたんですが、フェリーの件ですが、前回の委員会の中で阿多田島離島振興協議会の会長と、それから阿多田汽船の社長の二人がね、前回昨年10月か11月、1月19日の時点で要望書を出しとるということ、この委員会でいやあは出して

ないんじゃないという誤解があった。私が後日、会長に聞いてみますと、要望書は執行部のほうへ出しとるということでございますので、そういう関係もあって、このフェリーの載ってないのかなという、これは推測ではございますが、一応阿多田汽船の社長と阿多田島漁業協同組合の会長の2人で出されたということを知っております。

以上、そのことについてだけ、お知らせしたいと思います。

副委員長。

○賀屋委員 済みません、補足になりますけども、このアンケートの意見の集計は実際に今から阿多田自治会のほうで、されていくんだろうと考えます。今回提供させてもらっているアンケート結果については、集計をしたというだけで、これだけのものが出てます。こういう関係、こういう内容、これに関する内容といいますか、要望ですよということで、集計をただけであって、この中からどれを阿多田区自治会として、阿多田地区として、大竹市のほうに、または我々のほうに要望をしていくということになるのか、それはまた、自治会のほうの役員会なりで整理をしてもらって、これを全部個別に出してくるのか、それともある程度集約をした結果、何点かに絞って出して来られるのか、その辺はまた様子を見るということになるかと思えます。

その中で、この前阿多田島へ行きましたけども、1回だけでなしに、再々来てくれという意見もありますので、集計について一緒にやっつけようじゃないかという話になれば、またお伺いをして一緒に整理をしていく必要があるかもしれません。その辺のボールは阿多田島のほうにありますんで、そちらからの正式な要望が届けば、対応していけばいいんじゃないかなと委員長ともお話をしております。

それとフェリーの建造の件については、この自治会の総会の中では、口頭ではあったかもしれませんが、要望・意見の中身については建造についてのものはアンケートに書かれたものとしては、なかったということになっております。ある程度、今までに要望されたことが、市のほうの回答を得て理解をされたのかなと、納得をされたのかなと、このアンケート結果の集計でいきますと、そういう理解をしております。

○網谷委員長 藤井委員。

○藤井委員 アンケートを見ましてね、34件あるんですね、積算すると。それで我々は、基地周辺対策特別委員会として取り組むべきは、航空機の騒音とか、そういったものを中心に協議していくというのが、多分この委員会の大項目だろうと思うんですが、これを見ますと、何かをつくってくれ、どうしてくれ、ああしてくれ、ということが非常に多くて、我々の所拳のことじゃないかと、今これを見て感じたんですがね。そこらどうなんですかね。誰に答えてもらったらいいか、わかりませんが。

○網谷委員長 誰か答えられる人いますか。

副委員長。

○賀屋委員 済みません、我々の考えでは、いわゆる一番騒音迷惑をかけた、被害をこうむると、阿多田地区の皆さんが、前回、阿多田島へお伺いしたときでも、その認識はお互い持っている。その中で阿多田地区に何をしてくれるんかというところが、阿多田地区の要望が明確に出ていないんで、具体的な要望に対しての何て言いますか、回答とい

いますか、取り組みが十分にできていないと。

当然漁港の整備であるとか、あるいはそのほか今まで再編交付金の中で、1割程度、阿多田地区のために使ったという実績はあるわけですが、まだまだ阿多田地区の方にとってみたら、自分たちの要望は個々にあるんだと、その辺の整理をしてもらって、阿多田地区の皆さんに、いわゆる被害に相当する支援をどういうふうに見返りとして、取り組みができるのか、この委員会でまずは整理をしていこうじゃないかという、そのための取り組みであって、前回も阿多田島に行ったときに、どういう地域での要望があるのか、取りまとめを自治会総会でやってくださいというふうにお願いをしてみましたんで、その結果がこれなんだろうということで、それを今度それぞれ正式に整理できれば、実現に向けて取り組みができるのかというのが一つの阿多田地区に対しての、一番被害をこうむっとる地域の皆さんに対しての、議会としての対応になるのかなと考えてます。

○網谷委員長 藤井委員。

○藤井委員 賀屋副委員長のおっしゃられることは、理解はできるんですがね。この中で見て34件中、5件ですから十数%の方しか、騒音問題に取り組んでくれということがないんですよ。あとは全部本筋から外れとると思うんです。私個人の考えではね。それをまた自治会のほうでまとめて、何々をやってくださいというんで、それを我々のこの基地周辺対策特別委員会がまとめていくというのは、筋が違うような気がする。

私はお休みしたんでね、体調不良でまことに申しわけないんですが、そこらあたりどうなんですかね。まとめてからそれを、また課に部署に言うていかんと、できんですよ。そうすると我々の仕事の内容と、違うんじゃないかなと考えるんですがね。くどいようですが。

○網谷委員長 藤井委員の意見と私もかなり近いところがございます。このアンケート見ましても昨年、一昨年ですか、阿多田島を市役所の執行部が訪問され、市長以下5名ほどですかね。行かれたときと、この要望と余り変わってないんですよ。それで今、藤井委員が言われるのも、ごもっともではございます。

ただ、この基地関係の問題と申しますと、やはり大半が見返りといえますかね。また振興策、これを今、前の段階で議論しますと、もうとんでもない時間がかかるようなこととなりますので、今の岩国市にしる、二市二町岩国基地問題に関する議員連盟にしる、ほとんどが基地周辺の議論と申しますと、振興策の問題になるのが今の実情だと思います。

ということは、この阿多田島の要望のアンケートにしましても、振興策といえるかどうか分かりませんが、これ大竹市の問題でもございしますが、そのほうの方面になろうかと思えますので、やはりそういう方面から考えますと、基地周辺対策も大変関係するんじゃないかというふうに、解釈する次第でございます。

わかっただけだかどうか分かりませんが、よろしいでしょうか。

○藤井委員 はい。

○網谷委員長 済みません、どうもありがとうございます。

以上で、今の阿多田区自治会の総会で集計されたアンケート結果については、よろしいでしょうか。

よろしければ、次のその他の中の2点目といたしまして、前回、委員会で大変活発な意見が出されておりました、日米地位協定についてでございますが、あれから執行部の事務局の方と相談しまして、一応これ資料はホームページのほうから、外務省のホームページから日米地位協定についての全文を掲載いたしました。

皆さんもサイドブックで資料として、出しとろうかと思いますが、この議論をいたしますと、大変な問題になろうかと思いますが、それから全国知事会のホームページよりも米軍基地負担に関する提言という項目で、こちらのほうもサイドブックまた、資料のほうで提供させていただいておりますが、これをしっかり各委員さんが読んでいただきまして、また参考にしていただければと思いますので、その辺のところよろしいでしょうか。

山本委員。

○山本委員 聞いてみたいことがあって、フェリーを今後3年間で、調整費を含めて、建造費に取りかかるということが予算書の中で項目を見るとありましたが、我々が1月19日に阿多田島の皆さんと意見交換会やりましたよね。その席で出た意見の中に、市に対して正式に要望書を提出するというふうにおっしゃいましたよね。その要望書が既に出て、1月19日以後、それで今の平成31年度予算に1件財政措置をするということになったんかどうか、その確認は委員長なりされたんですか。

それとも先般の席で、むしろそういう意見が出たんだから、正・副委員長含めて市長のほうに、申し出くらいしたらどうかということを私も提案したんですが、そういう経過があって、そうなったのかどうか、そこを聞きたいんです。

それと、もう一つは、ここに騒音測定の表が出されておりますが、防音工事の基準やね。新聞報道によると岩国市は、今までの従来のここにあるような騒音のレベルが、1から6までありますよね。そのレベルを1ランク下げてでも、対象地域の防音対策をやるということが報道されとるんですが、阿多田島の場合この1から6までのレベルの中で、この表にあるように、1のレベルのときもありますよね。2のときもあります。改めてこの防音対策等についての防衛省に対する要望とか、それから執行部として阿多田島の皆さんから要望書が出た際の対応策として、何かコメントをされたようなことがあるんですかね。その2点を聞かせといてもらいたいなど。

○網谷委員長 それでは、先ほど山本委員まだ来られてなかったんかな。説明したんですがね。フェリーについての要望書ですよね。前回の委員会の中で、阿多田島離島振興協議会ですか、その会長と、それから阿多田汽船の社長なんですかね、そのお二人が要望書を出された、これから出すとかいう議論が、前回の委員会でもございましたよね。それから私、後日阿多田島離島振興協議会の会長に確認しましたところ、昨年10月か11月だったと、日にち的にははっきりしてませんが、要望書を執行部に出されたそうでございます。

それで今の1点目と、前回出したか出さなかったかという議論であったんですが、それを出されたということでございます。

それから2点目に、それ以後に、我々、委員長・副委員長が要望として市長に出したかという問いでございますが、これは出してございません。今の阿多田島離島振興協議会と阿多田汽船が要望書を出したという情報をつかみましたね。そういうことで市長のほ

うには出しておりません。

それから、防音の基準でございますが、これも出してはございません。ということよろしいですか。

副委員長。

○賀屋委員 済みません、補足をまたさせてもらいます。

今ありましたように、要望書は阿多田島のほうから既に昨年に出ておったということで、市のほうにですね。その中身の確認はしてなかったんで、前回の委員会で出したか、出してないか、わからんとかいう話になったんですが、既に出しておったんで、フェリーの更新については予算といいますか、計画も市のほうが立てていったということかと思えます。その中でさっきのアンケートの中に、フェリーの更新についての中身がなかったということであろうかと思えます。

それと先ほどの騒音の実態調査表、この阿多田島のですね。このレベル1とかレベル6とかいう部分は、これはあくまでも市のほうが阿多田漁港のほうに頼んで、いわゆる聞き取りで、どれぐらいのレベルなんかというのを、主観的に判断してもらったものが、ここへレベル1、レベル2、レベル3とかいうんで、回数、何月何日はレベル2の音が3回あったよとか、13回あったよとか、それはあくまでもその調査をお願いしている方の主観で、このぐらいのやかましきだったということで出されたものであって、防衛省のほうが決めてしておりますW値での数値というのは、その次以降のページにあります測定結果という部分で、明確に騒音測定値が載っております。

そのW値に対して、80以上と75以上、そういう中で防音対策工事の対象が仕分けがされるわけですけども、岩国市が要望されております騒音対策工事の対象の基準を軽減してくれと、緩やかにしてくれということについては、まだ阿多田島のほうにもその適応ができるのかどうなのか、確認はしておりませんが、どの程度、岩国市が軽減されていくのかというのを状況を見まして、同じようにしてもらいたい必要もあるかと思えますので、その辺はもうちょっと実態を調査をさせてもらって、次に取り組んでいくべきではないかなと考えますし、先ほどのアンケート調査の中でも、騒音対策に対する要望というのは、5件ほどありますけども、これもほとんどが防音工事について、対象の基準を軽減してくれということでございますので、正式に阿多田地区のほうから要望書なり、このことについて出てくれば、それをこの委員会でどう取り扱って、次の国への要望をどうつくるかということになるではないかなというふうに考えます。

○網谷委員長 山本委員。

○山本委員 いや、それでね、我々が意見交換会をやった席で、あれだけの参加された皆さんが、フェリーの問題についても、非常に大きな関心を寄せられとったと。ところが実際には、その運航会社が、既に昨年の11月ごろに市長に対して、要望書を出しとったというから。私らが行ったのは1月19日ですからね、2カ月も3カ月も島の人にはそんなことは知らない、そういう情報が全然伝わっていないということになるわいね。そこらはどうも私はあの席でかなり強く要望したいんだと、いうことをおっしゃっておったのに、当の本人も既に報告されとるようじゃ、それはそんな知らないというふうなことが、どうなんか

と思うけど。

で、市のほうも、自治会に対して、こういう運航会社なり要望があったんで、島の皆さんにも安心をしてくださいというふうな情報提供もしないと。そんな行政のあり方、問題の処理のあり方がどうかということは、私は非常に疑問を持つんですけどね。

そういうことじゃなしに、やっぱり新しい船をつくりゃつくつたで、管理のあり方とか、運航のあり方とか、またその運賃の問題だとか、いろいろあるわけですから、島の人との協力・協議を抜きにしては、なかなかこれは円滑なことにならんと思うんよね。そういうことを踏まえて、また機会があれば委員会としても、執行部のほうにその辺のことを検討して、一つ出してもらいたいということを申し上げておきたいです。

それから、この騒音の問題ですがね、これ90デシベル超えるということを含め、今までの大まかな基準ですが、この防衛省が測定した分では、阿多田島については91デシベル、90デシベル、89デシベルというところもありますよ。だから私が言うのは、岩国市ではこのレベルを1ランク下げてでも、騒音防止のための対策を、個々の住まいを持っておられる人たちに、手当てをするというふうなことをやろうとされとることになれば、阿多田島についても、その辺はむしろ岩国市より阿多田島のほうがひどいんじゃない業者の話もあるぐらいですから、阿多田島に対する何らかの対応策が取られてしかるべきだと思うんですが、今のような自治会との関係プレーがどうも密でないような気がするんでね。

騒音対策その他についても、しっかり自治会の役員に皆さんなり、日常的に行政とのかかわりも深い機関との意見の交換なり、出された意向については、この基地周辺対策特別委員会にも、しっかり報告してもらって、対応策も説明してもらおうようにしてほしいと思うんですがね。きょうは執行部出とらんから、今私が聞くようなことも、なかなか伝わらんのかもわかりませんが、重々一つ正・副委員長のほうで、基地周辺対策特別委員会の役割がね、もっと阿多田島の皆さんに理解できるような内容にしないといけないと思うんですがね。よろしくお願いします。

○網谷委員長 今の山本委員の御意見も踏まえまして、これから阿多田区自治会として、アンケートが集計をされ、どういう文章になろうかと思いますが、今度正式文書がこっちにくる手はずになっておりますので、その後、また皆さんと一緒に協議できればと思いますので、よろしく願いいたします。

ということで、きょうはそうした報告でございますので、それが正式な要望書になるのか、請願になるのか、陳情になるのか、よくこれから阿多田地区のほうと連絡をとりましてから、それができました時点で、協議したいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、きょうはこの辺で日程を終了したいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

以上をもちまして、基地周辺対策特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。

13時40分 閉会

